

献血実績献血目標に対する到達度、(市部)県下第二位 —令和6年度献血の到達点と特徴—

「令和6年度ライオンズクラブ並びに市区町村献血推進担当者合同研修会報告」(2024.7.29、ステーションホテル小倉)に参加し、全体的な課題・方向性を確認してきました。資料に不備があり、やや不明な点があります(小竹町のデータがありません)。しかし資料上で言えるのは、献血目標に対する到達度、(市部)県下第二位ということです。有力な都市をピックアップして、傾向を見ることにしましょう。

〔参考〕

	人口	生産年齢人口	献血目標	地域	職域	学域	街頭	合計	合計献血目標×100
筑紫野市	105,394	61,376	2,163	771	440	140	3,751	5,102	238.9%
直方市	55,016	29,229	1,030	491	784	78	873	2,226	216.1%
八女市	58,617	29,402	1,036	1,379	360	142	275	2,156	208.1%
行橋市	70,951	39,146	1,380	933	720	63	63	1,779	128.9%

※強調箇所は注目点

筑紫野市は、街頭献血の圧倒的な数で第1位です。対して八女市は地域献血の安定した数でほぼ目標数を達成して第3位です。行橋市は、クラブの活発な活動で知られており、献血も頑張っています。全体の数としてみると街頭献血が少ないのが足を引っ張っています。実は街頭献血は、大型の施設がないと成り立たないのです。

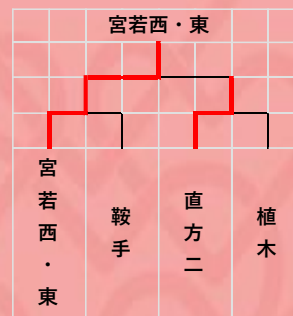
さて、直方の場合、ライオンズクラブの関与していない、地域献血が弱いです。一方職域献血と街頭献血で安定した成果を挙げています。日赤がもっとも頼りにしているのは職域献血で、安定した数が見込めるそうです。対して街頭献血は、やってみないとわからないとのことでした。街頭献血は大都市ほど有利に見えますが、北九州市1,098、福岡市574、という数ですから、直方ライオンズの頑張りが反映していると思います。

(なお街頭献血一位は久留米市5,839です)最後に学域献血で直方高校が新たに献血に加わったことが口頭で報告されました。(文責:向野)

直鞍地区中学校新人体育大会軟式野球大会

直鞍地区中学校新人体育大会 軟式野球大会が10月5、6日鞍手中学校にて開催されました。

参加中学校は直方第二中学校、宮田西・東合同中学校、植木中学校、鞍手中学校4校トーナメントで優勝は宮田西・東中学校でした。審判など地域の方の力で育つ汗まみれの中学生に出会いエネルギーをいただきました。誇らしき優勝旗、優勝盾、準優勝盾をお渡しさせていただきました。



クラブ会報『年輪』631号 令和6年10月15日

編集/発行 直方ライオンズクラブ 第三委員会

福岡県直方市殿町7-50直方商工会議所ビル3F TEL0949-22-4530 FAX (0949) 22-4531

ホームページ▷<http://www.noogata-lions.com> メール▷office@noogata-lions.com

2024
10
October
No. 631



337-A地区 3R-1Z
直方ライオンズクラブ会報

年輪

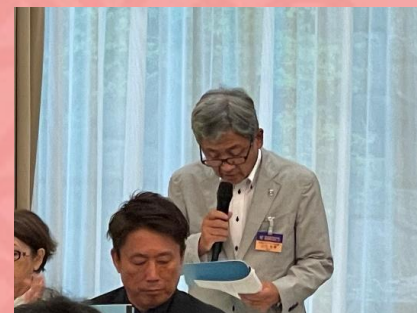


穏やかな内にも活発な応酬

—会員委員長会議&ガバナー諮問委員会—

和やかな観月例会の翌日9月18日(水)に会員委員長会議&ガバナー諮問委員会が開催されました。「3R・1Z」の4クラブがそれぞれのクラブの現状を踏まえて、どれだけのパフォーマンスとアクティビティを残すことができるか、を見極める会議です。会長、幹事で、ZC等の司会の元、ガバナーの諮問に答えていきます。

クラブ内で、コンセンサスのあることでも「なぜできないのか?」と問われます。直方は、4クラブをリードする位置にあり、期待も大きいという印象を受けました。質問によっては、クラブ側から地区役員に向けて、質問と説明を求める局面もありました。新会員研修の共同開催やメイク・アップ(他クラブの例会に出席すること)の活用など、示唆的な議論もなされました。石山顧問の総評は「ややおとなしい。しかし穏やかな内にも活発な応酬。95点」とのことでした。



ライオン誌のLINE友達登録のお願い

「友だち登録」をお願いいたします。登録はしていただくと、下記の内容が配信されます。ぜひ登録してください。登録するだけで、登録料はかかりません。



★『ライオン誌』日本語版は、ライオンズクラブ国際協会の公式機関誌です。

ライオンズクラブは1917年にアメリカで誕生し、現在200を超える国及び地域に140万人の会員を擁する世界最大の奉仕団体です。日本では全国約2800クラブ、10万人の会員が活動しています。ライオンズクラブ国際協会の公式出版物である『ライオン誌』は公式版が認可されています。(日本のライオン誌は1958年7月創刊されました)

結成年月日:1958.5.10 チャーターメンバー:38名 国際番号:024048 チャーターナイト:1959.3.7
SPクラブ:福岡LC 日本順位:76番目



納涼例会

令和6年7月16日(火)に行われた納涼例会。本年度の納涼例会は宗像市の岡八で開催

いたしました。メンバーのご家族様にも多忙のなかご参加を頂き本当にありがとうございました。

この日はお訪問例会も行われ、大村LCをはじめとする中間ライオンズクラブからもご参加を頂きました。

例会後の懇親会では目の前に広がる解放感あふれるインフィニティプールが非日常を思わせ、BBQをより一層楽しい時間へと導いてくれました。また、テールツイスタータイムでは委員会对抗のダーツ大会を行い、ダーツの初心者、上級者に関わらず大いに盛り上がる事ができました。

今後も直方ライオンズクラブの皆様が楽しんで頂ける例会運営や懇親会を第二委員会一丸となって企画してまいりますので、たくさんのご参加をよろしくお願い致します。

第二委員会 七仲光 利枝



9月17日の夜、会場であるエクセレントは、満月のようなみんなの笑顔が溢れていました。川口会長からの会員、家族、来訪クラブのビジターの方々に対する感謝の念に絶えない挨拶が皆んなの顔を緩めました。

そして、ラッキーカード抽選会では、子どもたちに気遣い溢れるプレゼント。そして会員企業からの賞品をはじめ、今回も安永信行よりたくさんのドネーションを含めた賞品の数々をご準備頂きました。最後のマジックショーでは、風船を使った作品、そして会場内を鳩が舞い、首の落ちないギロチンと笑いあり、ハラハラドキドキありとあっという間に時間が経ちました。それもこれも機関車のように牽引力のある山喜多委員長、それに文句を言いながらもついて行く立蘭副委員長の頑張りの賜物です。

次回は、12月の忘年会例会です。お楽しみに
第二委員会 L郡司島 敏亨

